

D-2 名古屋市における食料費の調査(第1報) —家計簿を通して—

一宮女短大 山本かなる

1. 最近家計における食料費の負担が重くなったといわれるが特に子供のある家庭においては、食料費の負担が重大な意義をもつ。そこでこの研究においては子供のある家庭の1日当たり食料費支出額がどれほどになるかについて、実態調査を行なった。

2. (1) 対象は工員世帯と普通世帯のうち夫婦と子供1人～3人の家庭を選んだ。

(2) 副食費、おやつ、外食費、酒類、その他については1週間分、主食、調味料、給食については1カ月分の調査を行なった。

(3) 今回は調査世帯全体について、平均的な食料費構造および二つのグループ別、食料費構造について分析を行なった。

3. (1) 全対象世帯の平均について——食料費1日1世帯当たり約1,104円

(2) 工員世帯について——食料費1日1世帯当たり、約960円

(3) 普通世帯について——食料費1日1世帯当たり、約1,220円の支出費額になった。

家計簿からみた全対象者、二つのグループ別に示された。1日1世帯当たりの食料費額は最近の物価高の一端を物語るものであり、今後の家計運営上に一つの指針となるものと考察される。なお、第2報において二つのグループ別、子供1人～3人家庭の食料費を分析その割合についてご報告いたしたい。